

【 基礎分野 科学的思考の基盤 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
看護情報学	1	30 時間 (15 回) ① 22 時間 (11 回) ② 8 時間 (4 回)	1 年次・前期	① 神樂所 恵理 ② 深野 明美	
学習目標	1. 基礎的な情報科学を理解する 2. 情報セキュリティを学びモラルを養う 3. 看護研究に必要な情報収集や統計処理や分析力・読解能力を養う				
D P との 関連	■1)多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input type="checkbox"/> 2)看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 <input type="checkbox"/> 3)自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 4)健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 ■5)身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 6)健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 ■7)専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回 <small>(神樂所)</small>	1. 情報とは 2. 情報の特性 3. 情報の認知と意思決定 4. 情報の伝達と コミュニケーション	講義	6 回 <small>(深野)</small>	1. 医療における情報の記録 2. 多職種連携と記録 3. 看護記録の開示	講義
2 回 <small>(神樂所)</small>	1. 情報社会とは 2. インターネットの仕組み とネットワーク 3. 情報通信技術 (ICT) とその活用	講義	7 回 <small>(神樂所)</small>	1. パソコンに関する 基礎知識	講義
3 回 <small>(深野)</small>	1. 情報化による社会の変化 2. 誰でも情報を活用できる ように 3. 助け合いのネットワーク	講義	8 回 <small>(神樂所)</small>	1. 文献検索 2. 調査とは	演習
4 回 <small>(深野)</small>	1. 医療における情報 2. エビデンス情報に基づ いた保健医療	講義	9 回 <small>(神樂所)</small>	1. 患者の権利と情報 2. 個人情報利用の仕方	講義
5 回 <small>(深野)</small>	1. 看護における情報 2. 看護の標準化 3. 看護情報学の教育や研究	講義	10 回 <small>(神樂所)</small>	1. コンピュータリテラ シーとセキュリティ	講義
			11 回	1. Excel による統計解析	演習
			12 回	2. 文章整理 (Word)	
			13 回 <small>(神樂所)</small>	3. 文章入力の基本	
			14 回	1. 口頭発表	演習
			15 回 <small>(神樂所)</small>	2. ポスター発表 終講試験	講義 試験
評価 方法	筆記試験 30 点 レポート評価 70 点	教科書	医学書院 別巻 看護情報学		

【 基礎分野 科学的思考の基礎 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
論理学 I	1	30 時間 (15 回)	1 年次・前期	吉岡 尚孝	
学習目標	1. 論理的思考の基礎的な知識を学び、物事の筋道を立てて考える力を養う 2. 論理的思考の下、自己主張、他者の主張を論理的に批判して述べるができる 3. 問題解決能力の基礎を学ぶ				
D P と の 関 連	■1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 ■2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 ■3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 ■5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 ■7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回	1. 論理的思考とは ・論理的思考の方法と内容	講義	8 回	1. 正しい推論と間違った推論 ・演繹法、帰納法、一般化	講義
2 回	1. 論理的文章の仕組み ・主張表現、理由、例示	講義	9 回	1. クリティカルシンキングの方法 ・結論の導き方を検証する	講義
3 回	1. 論理的文章の読解法 ・言い換え、疑問文、 比喩など	講義	10 回	1. 批判的思考の実践 ・他者の主張に反論する	講義
			11 回	1. 問題設定の方法 ・論点の抽出と整理	講義
4 回	1. 文と文のつなげ方 ・指示語、接続語など	講義	12 回	1. 問題への理解を深める ・問題の解決法を考察する	講義
5 回	1. パラグラフリーディングの方法 ・中心文と支持文など	講義	13 回	1. ディスカッションの実践 ・反対意見の対処法	講義
			14 回	1. 小論文の準備と作成 ・論点の整理、問題設定 ・論理的思考の実践	講義
6 回	1. 事実と意見の区別 ・統計データの使い方など	講義			
7 回	1. 論理構造の把握 ・議論の道筋を図化する	講義	15 回	まとめ 終講試験	講義・ 試験
評価方法	筆記試験 100 点		教科書	指定なし 各授業で講義資料を配布	

【 基礎分野 科学的思考の基礎 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
論理学Ⅱ	1	15時間(8回)	1年次・後期	池田 美子	
学習目標	1. ディベートとは何か、社会の中でディベートを行う必要性を理解し、基本姿勢を身に付けることができる 2. 演習を通し、自分の傾向を知り、相手を理解しながら討議する必要性について理解できる				
D P と の 関 連	<input type="checkbox"/> 1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1回	1. ディベートとは 1) ロゴス、パトス、 エトス	講義			
2回	2. カンファレンスとは 1. ディベートの準備 1) 議題の決め方 2) 情報収集の仕方 3) 役割分担 4) 進め方、ルール	講義			
3回	「ディベート演習」	演習			
4回	「ディベート演習」	演習			
5回	評価・修正	講義			
6回	「ディベート演習」	演習			
7回	「ディベート演習」	演習			
8回	「ディベートを行って」 まとめ	講義 GW			
評価方法	レポート評価 100点		教科書	資料のみ	

【 基礎分野 科学的思考の基礎 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
看護物理学	1	15 時間 (8 回)	1 年次・前期	三井 哲裕	
学習目標	1. 物理学の基本法則や医療に関する物理的知識を理解する 2. 人体や看護に関する物理的現象を理解し、基礎看護技術の基礎的暴力を身に付ける				
D P と の 関 連	<input type="checkbox"/> 1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input type="checkbox"/> 2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 <input type="checkbox"/> 3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回	1. 移動動作に必要な力の加減 2. 単位系と力の単位 3. 体位変換に役立つトルクの知識 4. 仕事とエネルギー	講義	5 回	5. 酸素ボンベ ・酸素と圧力の関係と性質 6. 点滴や輸血、経管栄養を行う際の液体の落下速度 7. 酸、アルカリと PH の関係	講義
2 回	5. 体位変換時の重心 6. 力学を人体に適応する 7. 「人肌温度」のあいまいさ	講義	6 回	8. 濃度の表し方と物質の溶け方 9. 皮下注射や人工透析を行う際に必要な浸透圧の知識	講義
3 回	8. 体熱と産生と喪失のバランス 9. 看護における電気 10. 胃洗浄とサイフォン 11. 新しい単位	講義	7 回	10. 物の見える仕組み 11. ファイバースコープの原理	講義
4 回	1. 知っておきたい圧力の基礎 2. すべての基本は空気の圧力 3. 血圧に関する知識 4. 低圧持続吸引装置の原理	講義	8 回	12. 紫外線の殺菌作用と赤外線利用のサーモグラフィ 13. 放射線の持つ特性 14. 音を目でとらえた「心電図」 まとめ 終講試験	講義・試験
評価方法	筆記試験 100 点	教科書	学研	ベッドサイドを科学する —看護に生かす物理学—	

【 基礎分野 人間と生活、社会の理解 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
心理学	1	30 時間 (15 回)	1 年次・前期	門嶋 清美	
学習目標	1. 人間の心理と行動について学び、広い視野から人間を理解することができる。 2. 人間の心の働きを理解するとともに、対人支援の実践に活かすことができる。 3. 講義を通して、他者理解はもちろんのこと自己理解を深めるきっかけとなる。				
D P と の 関 連	■1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input type="checkbox"/> 2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 ■3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 ■6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 ■7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回	ガイダンス	講義	9 回	発達心理 胎児期～児童期	講義・GW
2 回	心理学とは	講義・GW	10 回	発達心理 思春期・青年期～老年期	講義・GW
3 回	心と脳 脳の構造と働き	講義	11 回	社会心理 個人と社会	講義
4 回	認知機能について ① 感覚・知覚	講義	12 回	社会心理 集団と組織	講義
5 回	認知機能について ② 感覚・知覚	講義	13 回	医療と心理 ① 患者の立場から	講義・GW
6 回	認知機能について 情報処理の仕方	講義	14 回	医療と心理 ② 医療者としての 立場から	講義・GW
7 回	学習と記憶	講義	15 回	医療と心理 ③ ヒューマンエラー 終講試験	講義・GW 試験
8 回	パーソナリティー	講義・演習			
評価方法	筆記試験 100 点	教科書	講師資料 (参考文献) 看護学生のための心理学 (医学書院)		

【 基礎分野 人間と生活、社会の理解 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
人間関係論	1	30 時間 (15 回)	1 年次・後期	門嶋 清美	
学習目標	1. 生まれたときから様々な人との関係をもちながら生きている人間を理解する。 2. 様々な発達段階におかれた人たちの人間関係を発達心理学観点から理解する。 3. 人間関係を深めたり崩壊させたりする要素について学ぶ。 4. 現在社会における人間関係の問題や医療における人間関係について考える。				
D P との 関連	■1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input type="checkbox"/> 2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 ■3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 ■6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 ■7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回	人間関係とは	講義	8 回	発達心理学的人間関係 家庭・職場	講義・GW
2 回	発達心理学的人間関係 乳幼児（母子関係）	講義・GW	9 回	発達心理学的人間関係 家庭・職場	講義・GW
3 回	発達心理学的人間関係 家族	講義・GW	10 回	発達心理学的人間関係 老年期	講義・GW
4 回	発達心理学的人間関係 家族	講義・GW	11 回	現代社会の問題①	講義・GW
5 回	発達心理学的人間関係 学校	講義・GW	12 回	現代社会の問題②	講義・GW
6 回	発達心理学的人間関係 学校	講義・GW	13 回	医療における人間関係 患者・家族との関係	講義・GW
7 回	発達心理学的人間関係 恋愛	講義・GW	14 回	医療における人間関係 ストレス	講義・GW
			15 回	医療における人間関係 チームビルディング まとめ・レポート評価説明	演習
評価方法	レポート評価	100 点	教科書	講師配布資料 (参考文献) 看護学生のための心理学 (医学書院)	

【 基礎分野 人間と生活、社会の理解 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
カウンセリング論	1	15時間（8回）	1年次・後期	門嶋 清美	
学習目標	1. カウンセリングの基礎となる理論とコミュニケーションスキルを学び、実践で活用できる基礎を作る。 2. ロールプレイを通してコミュニケーションスキルを身につける。 3. カウンセリングの理論が看護場面でどのように役立つのか説明できる。				
D P と の 関 連	<input type="checkbox"/> 1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1回	カウンセリング理論	講義			
2回	コミュニケーション スキル①	講義・ ロール プレイ			
3回	コミュニケーション スキル②	講義 ロール プレイ			
4回	コミュニケーション スキル③	講義 ロール プレイ			
5回	看護とカウンセリング 事例を通しての演習	講義・演習			
6回	看護とカウンセリング 事例を通して演習	講義・演習			
7回	カウンセリングと心理療法 心理教育（集団）	ロール プレイ			
8回	まとめ・レポート評価 課題説明	講義			
評価 方法	レポート評価 100点	教科書		講師配布資料	

【 基礎分野 人間と生活、社会の理解 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
倫理学	1	15 時間 (8 回)	1 年次・前期	小笠原 理恵	
学習目標	1. 倫理学とは何かについて考えを深めることができる 2. 社会のニーズや価値観が多様化する現代において人間、倫理の原則を学ぶ 3. 生命倫理について理解することができる				
D P と の 関 連	■1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input type="checkbox"/> 2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 ■3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 ■5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 ■7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回	1. 倫理とは何か	講義	4 回	1. 看護倫理とはなにか ・看護倫理を学ぶ意義 ・看護の倫理原則	講義
2 回	2. 他者理解と対話のための理論	講義	5 回	2. 専門職の倫理 ・専門職の倫理綱領 ・保健師助産師看護師法と倫理	講義
3 回	3. 生命倫理とは何か ・生命倫理の理論 ・生命倫理と看護職の責務	講義	6 回	1. 倫理的問題へのアプローチ 2. 看護研究の倫理	講義
	4. 性と生殖の生命倫理 ・性の生命倫理 ・生殖の生命倫理 ・生殖に対する医療的介入の課題	講義	7 回	1. 事例分析	演習
	5. 死の生命倫理 ・死について ・死と医療 ・死についての生命倫理の課題	講義	8 回	まとめ レポート評価説明	講義
	6. 先端医療と制度をめぐる生命倫理 ・移植医療 ・再生医療 ・遺伝子医療	講義			
評価方法	レポート評価 100 点	教科書		医学書院 別巻 看護倫理	



【 基礎分野 人間と生活、社会の理解 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
社会学	1	30 時間 (15 回)	1 年次・後期	岡本 朝也	
学習目標	1. 人間生活における人間と社会の相互作用について学ぶ 2. 社会的存在である人間を理解する 3. 家族の機能と役割を学ぶことで、社会について学ぶ				
D P と の 関 連	■1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input type="checkbox"/> 2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 <input type="checkbox"/> 3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 ■5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 ■7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回	1. 記号と意味 2. 象徴の体系	講義	8 回	1. ルーマンの機能 - 構造主義の社会学	講義
2 回	1. 正統性信念とは 2. 価値の相対性	講義	9 回	1. ウェーバーの近代化論	講義
3 回	1. デュルケームの社会理論 2. 機能主義の理論	講義	10 回	1. 近代家族 2. 近代社会と家族	講義
4 回	1. 社会的自我論 2. 相互作用と象徴	講義	11 回	1. 階級社会と大衆社会 2. 監視社会	講義
5 回	1. フロイトの自我論	講義	12 回	1. 福祉国家とは 2. 福祉国家の類型	講義
6 回	1. パーソンの社会システム論	講義	13 回	1. 階層と文化 2. 消費社会	講義
7 回	1. 相互作用論と意味の解釈 2. ゴフマンのドラマ理論	講義	14 回	1. 少子化と晩婚化 2. 後期近代社会	講義
			15 回	まとめ・レポート評価説明	講義
評価方法	レポート評価	100 点	教科書	10 代からの社会学図鑑 (三省堂) 内田隆三『社会学を学ぶ』(ちくま新書) 参考として奥井智之『社会学』 (東京大学出版会)	

【 基礎分野 人間と生活、社会の理解 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
教育学	1	30 時間 (15 回)	1 年次・前期	吉岡 尚孝	
学習目標	1. 教育の様々な手法を通し、個人やグループワークを通して、コミュニケーション力を高める 2. 看護に役立つ考え方や方法を見出し、広い視野で看護業務を遂行できる能力を養う 3. 教育問題を中心に発達や社会との関係で考え、判断できる基礎を養う				
D P と の 関 連	<input type="checkbox"/> 1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 <input type="checkbox"/> 3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回	1. オリエンテーション (授業の見通しと進め方)	講義	9 回	1. 「いのちの授業」をつくる (共感と課題定義)	GW
	2. これまで受けてきた学校教育をふりかえる	GW	10 回	1. 「いのちの授業」をつくる (アイデア創出)	GW
2 回	1. 「主体的・対話的で深い学び」とコンピテンシー	講義		・取材、教材開発	
	2. 小学校の授業を見る	GW	11 回	1. 「いのちの授業」をつくる (プロトタイプ)	GW
3 回	1. 学ぶことと生きること	講義		・授業づくり	
	2. 院内学級の授業を見る	GW	12 回	1. 「いのちの授業」をつくる (検証)	GW
4 回	1. 発達障害とインクルーシブ教育	講義		・発表	
	2. 特別支援学校の授業を見る	GW	13 回	1. 「いのちの授業」をつくる (修正)	GW
5 回	1. 学ぶことと遊ぶこと	講義		・評価	
	2. こども園の実践を見る	GW	14 回	1. 教育と医療	講義
6 回	1. 生活綴り方と実践記録	講義		2. ケアを問い直す	GW
	2. 教育実践記録を読む	GW	15 回	1. まとめ	講義
7 回	1. 子どもと発達	講義		(授業振りかえり)	
	2. 子どもの声と体を聴く	GW		2. これからの教育とは	GW
8 回	1. いのちと教育	講義			
	2. コロナ禍で教育を考える	GW			
評価方法	レポート評価 100 点		教科書	講師資料	

【 基礎分野 人間と生活、社会の理解 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
英語	1	15 時間 (8 回)	2 年次・前期	井上 智栄	
学習目標	1. 英語に親しみ、日常によく使われる英語のフレーズが理解できる 2. 臨床現場で頻繁に使われる医療英語の基礎を身に付ける				
D P と の 関 連	■1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 ■2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 <input type="checkbox"/> 3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 ■7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回	1. 自己紹介 2. 教室での英語	講義	7 回	1. 相互思考 2. 音楽を聴く 3. 歌を歌う	講義
2 回	1. 体内、体外の主要部分の英語表現	講義	8 回	終講試験	試験
3 回	1. 状態、疾患、処置等の英語表現 2. 身体の動きの英語表現	講義			
4 回	1. 時間の英語表現 2. 道案内	講義			
5 回	1. 知っておくべき主な英語のフレーズ	講義			
6 回	1. 動詞を使ったコミュニケーション	講義			
評価方法	筆記試験 100 点	教科書			

【 基礎分野 人間と生活、社会の理解 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
生涯スポーツ論	1	30 時間 (15 回)	1 年次・後期	徳久 貴男	
学習目標	1. 人間にとって健康の意義を学ぶ 2. 看護師として健康の考え方を理解することができる 3. 健康を維持するための健康管理を運動から実施できる 4. 運動からのアプローチにより実践できることを理解し、常に何かに心がときめくような看護師に成長することができる				
D P と の 関 連	<input type="checkbox"/> 1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 <input type="checkbox"/> 3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回	1. 授業の進め方と評価 2. 生涯スポーツとは	講義	8 回	10. 「高齢者の健康と体力 についての一考察」	講義
2 回	3. 昔の体育 4. 昔のスポーツ	講義	9 回	11. 見る、スポーツ、 ビデオ鑑賞	講義
3 回	5. 科学と効率について	講義	10 回	12. 認知症をスポーツで やっつける	講義
4 回	6. 筋肉痛が何を意味 するか	講義	11 回	13. オリンピックビデオ 鑑賞	講義
5 回	7. 熱中症と水分補給	講義	12 回	14. 「軽運動が高齢者の 血圧に及ぼす影響」 データに基づき論証 する	講義
6 回	8. 生活習慣病を運動から アプローチする	講義	13 回	15. 実技気分爽快	演習
7 回	9. 障害と傷害 (スポーツ実践中)	講義	14 回	実技気分爽快	演習
			15 回	まとめ・レポート評価説明	講義
評価 方法	レポート評価 100 点	教科書		講師資料	

【 基礎分野 人間と生活、社会の理解 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
異文化理解と看護	1	30 時間 (15 回)	2 年次・後期	小笠原 理恵	
学習目標	1. 国際社会に対応しうる基礎的な能力を身につける 2. 専門職として、臨床で活用できるスキルを身につける 3. 異文化に触れ、自分の視野を広げることができる				
D P と の 関 連	■1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身につけている。 ■2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身につけている。 □3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 □4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 □5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 □6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 ■7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1 回 <small>(小笠原)</small>	1. 日本の多文化共生社会	講義	8 回 <small>(小笠原・ ブラー)</small>	8. タイ語 1) 医療通訳者、 コーディネーターの視点	講義
2 回 <small>(小笠原)</small>	2. 医療現場での異文化 コミュニケーション	講義	9 回	9. 英語	講義
3 回 <small>(小笠原)</small>	3. 医療における文化的 多様性	講義	10 回 <small>(小笠原・ 塩屋裕)</small>	1) 地域に根差した医療 通訳者の視点 2) 生活習慣と文化	講義
4 回 <small>(小笠原)</small>	4. 医療現場の現状と課題	講義	11 回	10. 韓国語	講義
5 回 <small>(小笠原)</small>	5. これからの看護師に 求められるもの	講義	12 回 <small>(小笠原・ 塩屋裕)</small>	1) 地域に根差した医療 通訳者の視点 2) 生活習慣と文化	講義
6 回 <small>(小笠原・ 中萩エル ザ)</small>	6. ポルトガル語 1) 外国人医師の観点	講義	13 回	11. ポルトガル語	講義
7 回 <small>(小笠原・ 村松)</small>	7. スペイン語 1) 社会福祉士の観点	講義	14 回 <small>(小笠原・ 塩屋裕)</small>	1) 地域に根差した医療 通訳者の視点 2) 生活習慣と文化	講義
			15 回 <small>(小笠原)</small>	まとめ レポート評価説明	講義
評価 方法	レポート評価 100 点		教科書	講師資料	

【 基礎分野 人間と生活、社会の理解 】

科目	単位	時間数・講義回数	学年・時期	講師名	
生活科学	1	15時間(8回)	1年次・前期	中川 真希	
学習目標	1. 人間と環境の相互作用について理解する 2. 人間が生きるために必要な日常生活行動について、身体の構造と・機能と関連付けて理解する 3. 生活体験を通して、「生きる」「生活」を支えるための生活行動を理解し、看護につなげる				
D P と の 関 連	■1) 多様な文化・価値観を持った人々を、生活を営む存在として幅広く捉えるための、多くの知識が身についている。 <input type="checkbox"/> 2) 看護専門職としての役割を果たすための、コミュニケーション力が身についている。 <input type="checkbox"/> 3) 自己を客観的に見つめることができ、看護師としての倫理的判断に基づいた看護が実践できる。 ■4) 健康障害があるなしにかかわらず、その人の持てる力に応じた看護が実践できる。 ■5) 身につけた知識を活用し得られた情報を科学的・論理的に分析しあらゆる人の健康に関する課題を明確にし、看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 6) 健康・医療・福祉の総合的な視野を持ち、チーム医療の一員として対象や多職種との連携・協働において、すべての人々の健康の保持・増進・予防を考慮した看護が実践できる。 <input type="checkbox"/> 7) 専門職業人としての自覚を持ち、看護の発展のために生涯学習し続けることができる。				
回数	学習内容	学習方法	回数	学習内容	学習方法
1回	1. 生活科学とは 1) 学問としての生活科学 2) 看護における生活科学	講義	5回	1. 「食べる」ということ 2. 「出す」ということ	講義
	2. 生活行動とは 1) 何のための生活行動 2) 生きているということ		6回	1. 「身体をきれいにする」 2. 「触れる」ということ	講義
	3. 人間の体と生活行動との関係		7回	1. 「生きる」「生活する」ということを支えるとは	講義
2回	1. 人間と環境の相互作用 1) 外部環境と内部環境 2) 生命維持・ホメオスタシス	講義	8回	終講試験	試験
3回	1. 「動く」ということ 2. 「眠る・休む」ということ	講義			
4回	1. 「話す・きく」ということ 2. 「考える」	講義			
評価方法	筆記試験 100点	教科書		日常生活行動からみるアセスメント看護 形態機能学 (日本看護協会出版会)	